

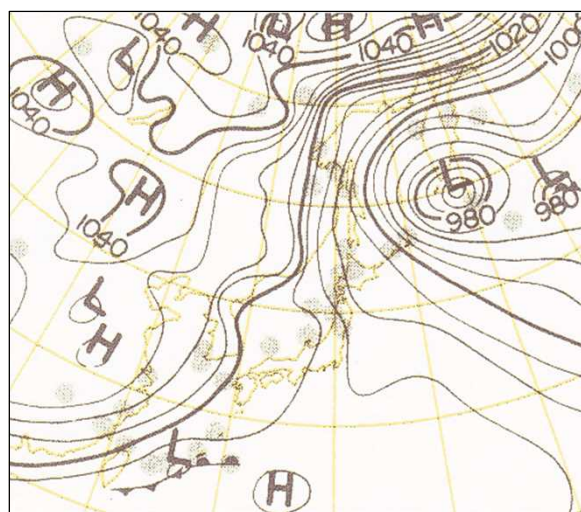
【昭和52年豪雪】 昭和51（1976）年12月27日から昭和52（1977）年2月7日にかけての大雪と低温

強い冬型の気圧配置と寒気の流れ込み～大雪による人的被害と建物の被害～

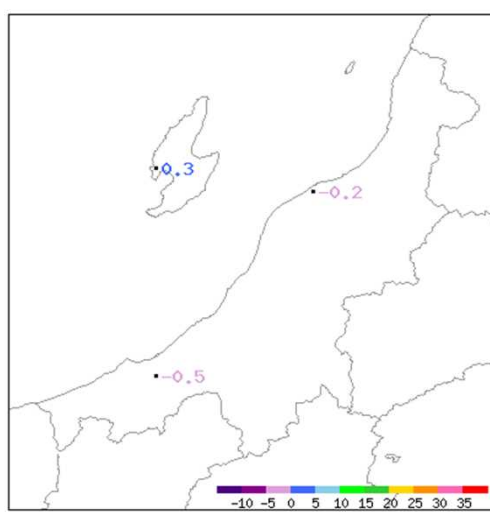
【概要】

昭和51（1976）年12月の終わりから昭和52（1977）年2月中旬にかけて、複数回にわたり強い冬型の気圧配置となり新潟県では大雪となった。また、強い寒気の流れ込みにより昭和52年の1月と2月の平均気温は全国的に平年より2～3度低く、新潟県でも、1月の月平均気温が新潟で-0.2度、相川で0.3度、高田で-0.5度となり、新潟と高田は1945年以降最も低い値となった。記録的な低温の中で降雪が持続したため積雪が増え、津南では2月6日に最深積雪395cmを観測した。

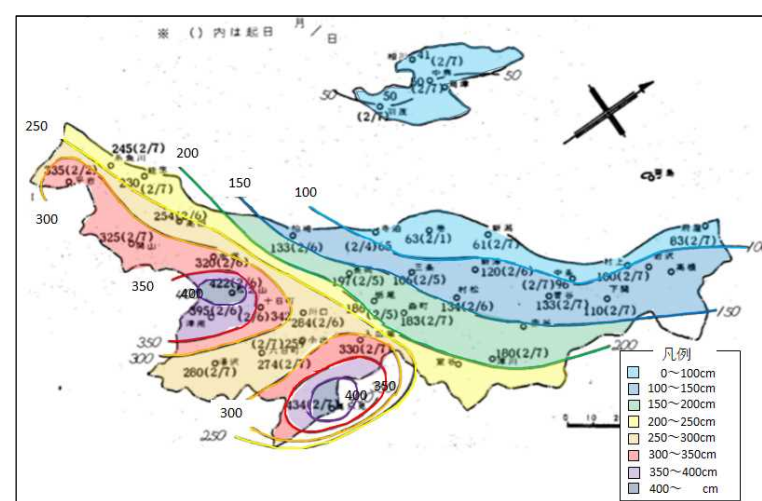
この大雪により、県内では、屋根の雪おろし中の転落により3人が死亡したほか、除雪中の事故や積雪による交通事故等で多数の死傷者が出た。また、住家及び非住家の被害も多発した。（被害状況は「昭和51年12月末から昭和52年2月はじめにかけての新潟県の低温と大雪に関する異常気象速報」より）



天気図 1977年1月30日9時



気象官署月平均気温  
1977年1月



最深積雪深分布図  
1976年12月26日～1977年2月7日